



移住者名	梅田 はつみ
都道府県	長崎県 壱岐市
移住先	福岡市⇒壱岐市
移住年	2017年
職業	会社員⇒地域おこし協力隊
家族構成	夫婦2人
移住形態	1ターン

## Q. 移住したきっかけは？

博多港から高速船で1時間という壱岐島に、2017年のGWまで訪れた事はありませんでした。主人と2泊3日でキャンプをしに訪れた事が移住のきっかけとなりました。豊かな自然と食に惹かれ、いつか(遠い未来、一生に一度くらいは)島での暮らしもしてみたいねと話していると、キャンプ後に主人が壱岐島への興味を深め、古事記に登場する歴史の深さや、食の豊かさについて教えてくれました。主人は、現在のIki-Biz(お仕事サポートセンター)での募集情報を知り、GWに訪れてから2ヶ月後には移住することになりました。移住を決めるまでが早すぎてびっくりだったのですが、私は福岡で求人広告の営業をしており、お客様の担当都合もあったため10月末の移住となりました。移住前に地域おこし協力隊に応募し、現在は観光商工課に在籍しています。最終的な決め手としては、福岡まで1時間のアクセスの良さと、食の豊かさ(新鮮な魚・壱岐牛・お米・野菜など)が決め手となりました。

## Q. 移住の際不安に思ったことは？

大きな不安はありませんでしたが、福岡市に住んでいたため車は所有しておらず、公共交通機関やカーシェアを利用していました。壱岐で暮らす際には車が必ず必要との事で、慌てて車を探しました。借家についても、7月頃に物件を探した為、空き家はあっても貸し物件がなく、あったとしても水回りが古すぎたりと苦戦しました。当初希望していた町の隣町にはなりませんが、畑も出来る平屋の戸建てに決めました。念願の平屋暮らしとなり、各港へも10~15分という所で他町へのアクセスが良いもの気に入っています。

## Q. 移住して良かったことは？

①食が豊か②自然が豊か③時間がゆっくりしている。①については、移住の決め手にもなったポイントです。島ながら、長崎県で2番目に広い平野がある米どころで、野菜や果物、新鮮な魚、壱岐牛など、潮風を浴びた美味しい食材と、お裾分けもよく頂くので食費は減りました。地域おこし協力隊の家賃補助を受けている事もありますが、福岡市で暮らしていた時と比べて固定費が10万円ほど安くなりました!②については、キャンプで訪れた時にも感じた海と緑の美しさです。お休みの日にはコーヒーを持ってビーチでお茶をしたり、地元の方にサーフィンや釣りを教えてもらったりと遊びの幅も広がりました。③については、福岡にいた頃は遅くまで仕事をし時間に追われる日々でしたが、現在は仕事帰りに海で泳いだり、夕日を眺めたり、ゆっくり夜ご飯の準備ができたり、平日でもBBQや星空を眺めたりとゆったりした暮らしになりました。起業などすれば変わるかもしれませんが、一年目の今はゆっくりと島での暮らしを楽しんでいます。

## Q. 移住を考えている方へメッセージ

---

私たちは、引っ越す前に住んでいる方にお話しを聞いたり、地域おこし協力隊の方に詳しくお話を聞いたりにはなかったですが、色々なご縁を頂き、現在まで大きな不便もなく暮らせています。主人も私も、たくさん島の方と関わる仕事なので、いろんな方に壱岐の話や課題などを聞くことができます。一つの会社に就職するよりも幅広い繋がりができており、島に馴染めるかという移住一年目にはありがたい事だと痛感しています。私は福岡でしか住んだことがなく、他の地域で暮らすイメージは全くなかったのですが、今は福岡にいたままでは経験できなかった、壱岐の文化(壱岐神楽や100以上点ある神社)や壱岐での暮らしを知り、自分の可能性が広がったと思っています。畑で採れた野菜を食べたり、釣った魚を晩ごはんにしたり(さばき方をYouTubeを見て学んだり)と、新たな自分にも会えました。今後は、鶏を育てて産みため卵を食べようと雛を飼う予定です！